講義資料 演習の進め方

【目的】

介護職員等によるたんの吸引等の研修講師としての役割及び効果的な指導方法について演習を通して理解を深めます。

【演習の方法】

1. グループ編成： 20 グループ

2. 時間： 80 分

3. 場所： たんの吸引演習○○教室、経管栄養演習○○教室

4. 演習の方法

1)メンバーの役割設定 （本演習は 1 グループ5名～7名）

A：介護職員役
・シミュレータでの演習２回目。第１回目の実施時には、緊張し手順が複数抜けてしまった状況 または実施方法が不適切であった状況。今回も緊張している設定でケアを実施して下さい。

B：指導者役
・介護職員役のシミュレータ演習の指導を実施します。
・指導者評価票に評価を記録します。

C：指導者の助言者役
・必要時、B の指導者に助言をします。
・指導者評価票に評価を記録します。

D：利用者役
・介護職員役が利用者に説明する場面で、「利用者としての受け答え」をします。

E、F、G：全体の進行管理者
・講義と演習の関係、演習環境、必要器材、演習時間などについて必要に応じて対応し、気づいた点をメモします。
＊受講番号の早い順に A～G として下さい。（各グループの状況で変更いただいてもかまいません）

2)演習の内容（おおよその実施時間）

（１）演習の進め方についての講義（説明１０分）

（２）テーブル（又はベッド）の配置器材の確認（リストは次ページ）（確認５分）

（３）「１）メンバーの役割」をもとに、演習を実施します。（演習５０分）

① A の介護職員役の方は、ケアを実施し、介護職員評価票に自己評価の結果を記録して下さい。

② B の指導者役の方は、介護職員のケアの実施の指導を実施し、指導者評価票に評価結果を記録して下さい。C の指導者の助言者役の方も、指導者評価票に評価結果を記録して下さい。

③ E、F、G の全体の進行管理者の方は、今後、研修事業で実際に演習を実施するに当たって気づいた点等を記載して下さい。

＊初回の演習では、メンバー全員で、指導・評価の一通りの流れを確認するため、E～G のうち、いずれかの方が「評価票の項目（実施手順）」を読み上げ、それに従って A.介護職員役の人が手順通りに実施して下さい。

＊複数回実施するなかで、役割を交代して指導及び評価を実施して下さい。

《本演習では、それぞれの役割を通じて、「講師・指導者」として、以下の点を確認しながら実施して下さい》

① 介護職員の演習指導にあたって、どのような点に留意が必要か。
（事前の指導者の準備、実際の演習指導場面での留意点）
② 指導及び評価の実施と、評価結果の介護職員へのフィードバックを行うにあたり、どのような点に留意が必要か。
③ 演習環境を整備する上で、どのような点に留意が必要か。

《 演習時の配置器材リスト 》

たんの吸引	経管栄養
① たんの吸引シミュレータ（カフ付き気管切開チューブ設置済）	① 経管栄養シミュレータ（経鼻経管栄養用チューブ及びバルーン型胃瘻チューブ設置済）
② ルートモデル（断面模型）	② ルートモデル（断面模型）
③ ルートモデル用気管カニューレ内部吸引チューブ	③ ルートモデル用経管栄養チューブ
④ 吸引器	④ 潤滑剤スプレー
⑤ トレイ	⑤ 点滴スタンド
⑥ 蓋付き保管容器と口腔内/鼻腔内吸引チューブ	⑥ イルリガートル（ボトル）と栄養点滴チューブ
⑦ 気管カニューレ内部吸引チューブ 2 本	⑦ 模擬栄養剤（2L ペット入り赤絵の具水溶液）2 本
⑧ 潤滑剤スプレー	⑧ 栄養剤見本（ラコール、エンシュアリキッド） ※パッケージ見本ですので開封しないで下さい。
⑨ 10ml チップシリンジ（模擬痰注入用）	⑨ 200ml 計量カップ
⑩ 模擬痰	⑩ 50ml カテーテルチップシリンジ（白湯注入用）
⑪ 清浄綿/容器入り	⑪ 漏斗とディスポカップ
⑫ 洗浄水（ペット入りの蒸留水）	⑫ 排水用ホース、バケツ
⑬ 清潔な手袋 4 セット	⑬ ディスポ・シート 2 枚（シミュレータの下に設置済）
⑭ 滅菌手袋 2 セット	⑭ タオル/箱テッシュ、ペンライト
⑮ セッシとセッシ立て	⑮ ケア実施の手引き（研修テキスト）
⑯ ディスポカップ、タオル/箱テッシュ、ペンライト	⑯ 指導者評価票/介護職員評価票（研修テキスト）
⑰ ケア実施の手引き（研修テキスト）	⑰ ヒヤリハット・アクシデント報告様式、バインダー、筆記具
⑱ 指導者評価票/介護職員評価票（研修テキスト）	⑱ 経管栄養シミュレータ取扱説明書
⑲ ヒヤリハット・アクシデント報告様式、バインダー、筆記具	
⑳ たんの吸引シミュレータ取扱説明書	

5. 人工呼吸器、AED の説明（10 分）

展示機器の「人工呼吸器」(たんの吸引演習終了後)と「AED シミュレータ」(経管栄養演習終了後)について、ご説明致します。

※〇時〇分と〇〇時〇分に説明を開始します。演習実施の場所（席）でお聞き下さい。

6. 演習終了時の片付け（5分）

A グループと B グループでは、片付け方法が異なります。演習終了時に改めてご案内致しますので、御協力のほどよろしくお願い致します。

7. 助言講師について

助言講師が巡回しています。講師の助言が必要な場合には事務局職員にお知らせ下さい。

8. その他

1）たんの吸引/経管栄養シミュレータの取り扱いは、取扱説明書（第 1 日目配布済み）をご覧下さい。

2）教室移動は速やかに行動して下さい（講義の定刻開始・終了にご協力をお願い致します）。

「基本研修演習（シミュレーター演習)」計画づくりのためのメモ（指導者用）

１．演習の準備	○講義との関係 ＊演習の前に終了している講義は何か。 ○受講者の状況の把握 ＊受講者の所属している施設、これまでたんの吸引等が必要な利用者に接した経験等をどのように把握するか。 ○演習のグループ ＊グループの人数は何人くらいを想定するか。 ○器材等 ＊実際の演習を実施する上で、さらに準備が必要なものは何か。 ○講師間の打ち合わせ ＊評価の均一化を図るために、どのような工夫が考えられるか。
２．演習の実施	○演習前の説明 ＊目的・目標の確認、修了要件の事前説明の方法。 ○デモンストレーション ＊効果的に実施するためにどのような工夫が必要か。 ○進め方 ＊グループでのそれぞれの役割をどのように設定するか。 ＊各回の指導・評価をどのように行うか。 ＊評価結果をどのようにフィードバックするか。受講者の自己評価をどのように把握するか。 ＊修得に時間を要する場合にどのように対応するか。
３．その他	・自己学習の場をどのように設定するか。 ・

医師からの指示内容（各グループで設定）